

7月の図書館だより

No. 495〔2025（令和7）年7月号〕

草津市立図書館

草津市立南草津図書館

☎ 077-565-1818

☎ 077-567-0373

FAX 077-565-0903

FAX 077-567-2357

日	月	火	水	木	金	土	= TOPICS =
		1 本館休	2	3	4	5	・令和7年7月に「草津市読書のまち推進計画」を策定します。 「学びと出会い 心豊かな人生を育む 読書のまち草津」を基本理念に、全世代・全市域での読書活動を推進し、市民誰もが読書に親しむことのできる「読書のまち」を目指します。 計画の詳細は市のホームページをご覧ください。 公式Instagram更新中！！ 草津市立図書館・南草津図書館のイベント、展示、館内の飾りつけなどなど、最新のオススメ情報を更新中しています。 ぜひフォローお願いします！ 
6	7 南館休	8 本館休	9	10 H①	11	12 H② M①	
13	14 南館休	15 本館休	16	17	18	19	
20 H③	21 両館休	22 本館休	23	24 M②	25	26 H④ M③	
27	28 南館休	29 本館休	30 両館休	31			
開館日 ●本館 水～月曜日 午前10時～午後6時 ○南館 火～日曜日 午前10時～午後8時 休館日 ●本館 火曜日 ○南館 月曜日 ●○両館 祝日、月末水曜日、特別整理期間、 年末年始〔12月28日～1月4日〕							

= EVENTS =	
●草津市立図書館（本館） …… H	○草津市立南草津図書館（南館） …… M
<u>H①：木曜おはなしのじかん（キッズデー）</u> 日時 10日(木) 11時～11時30分 会場 2階 会議室 対象 乳幼児と保護者の方 内容 手遊び、絵本の開き読みなど	<u>M①：こどものつどい（キッズデー）</u> 日時 12日(土) 11時～11時45分 会場 音楽室 対象 幼児～小学校中学年 内容 草津おはなし研究会によるパネルシアターなど
<u>H②：こどものつどい（キッズデー）</u> 日時 12日(土) 14時30分～15時15分 会場 3階 大会議室 対象 幼児～小学校中学年 内容 草津おはなし研究会によるパネルシアターなど	<u>M②：木曜おはなしのじかん（キッズデー）</u> 日時 24日(木) 11時～11時30分 会場 絵本コーナー 対象 乳幼児と保護者の方 内容 手遊び、絵本の開き読みなど
<u>H③：図書館ビブリオバトル</u> 日時 20日(日) 14時～15時 会場 1階 YA コーナー 内容 本の紹介コミュニケーションゲーム 備考 発表者、観覧者ともに事前申込要 申込 6月18日(水)から（申し込みはコチラ→） 	<u>M③：おはなしのじかん</u> 日時 26日(土) 14時30分～15時 会場 絵本コーナー 対象 幼児 内容 絵本の開き読みなど
<u>H④：おはなしのじかん</u> 日時 26日(土) 14時30分～15時 会場 絵本コーナー 対象 幼児 内容 絵本の開き読みなど	図書館（本館・南館）では、個人の持ち込み資料による学習をしたり図書館で借りた本を読んだりできる学習スペース「学-being（まなびーいんぐ）」を開設しています。

新着図書の紹介 2025年7月

- ・お読みになりたい本がありましたら、ご予約ください。（返却期限の過ぎた本をお持ちの方は、返却を済ませてから、ご予約ください。）
- ・紹介していない本でも、ご予約いただけます。（電話でも結構です。それぞれご利用になる館に直接連絡してください。）

No.	記号	書名	著者名	No.	記号	書名	著者名	No.	記号	書名	著者名
1	019.53	心に残る、絵本と物語		41	498.6	ハンセン病差別の歴史を旅する	八木 絹／著	81	910.268 セ	寂聴先生が残してくれたもの	瀬尾 まなほ／著
2	024.1	町の本屋はいかにしてつぶれてきたか	飯田 一史／著	42	518.85	緑地と文化	石川 幹子／著	82	913.6 ア	乱歩と千畝	青柳 碧人／著
3	141.93	「謙虚な人」の作戦帳	ジル・チャン／著	43	527.1	ちょっとイイ家	増田 奏／文・イラスト	83	913.6 ア	あなたの四月を知らないから	青山 エリ／著
4	159.4	自分の変え方	村岡 大樹／著	44	537.1	クルマの最新メカニズム	鈴木 喜生／編著	84	913.6 ア	棺桶も花もいらない	朝倉 かすみ／著
5	159.7	どうしたらいいかわからない時代に僕が中高生に言いたいこと	内田 樹／著	45	538.7	世界の軍用機大図鑑	トーマス・ニューディック／著	85	913.6 ア	温泉小説	朝比奈 あすか／著
6	162.1	日本の聖地解剖図鑑	えいとえふ／著	46	547.48	「ネットワーク、マジわからん」と思ったときに読む本	福永 勇二／著	86	913.6 ア	嘘と隣人	芦沢 央／著
7	210.04	プロの小説家が教える歴史作家の秘ネタ帳	木下 昌輝／著	47	559.7	オッペンハイマーの遺産	佐藤 文隆／著	87	913.6 ア	すべての原付の光	天沢 時生／著
8	210.1	大転換の日本史	出口 治明／著	48	589.2	10着で十分	大山 シュン／著	88	913.6 イ	冷やかな悪魔	石田 夏穂／著
9	288.2	家系図つくってみませんか？	丸山 学／著	49	590	捨てて、やめてラクになる私らしい「持たない暮らし」		89	913.6 ウ	風読みの彼女	宇山 佳佑／著
10	289.1 ト	図説豊田秀長	河内 将芳／著	50	591	心豊かにお金づきあい		90	913.6 カ	YABUNONAKA-ヤブノナカ-	金原 ひとみ／著
11	290.9	NO JOURNEY, NO LIFE	半藤 将代／著	51	593.36	古きものと帯で作る一点ものの洋服と小物	吉田 三世／著	91	913.6 カ	救われてんじゃねえよ	上村 裕香／著
12	291.093	文化財に泊まる。	偏愛 はな子／著	52	594.2	お祝いの刺し子	chiebaa田中千絵／[著]	92	913.6 ク	ふたり腐れ	楠木 理宇／著
13	293.892	季節で綴るフィンランド'216	ラサネン優子／著	53	594.9	毎日使いたいパッチワークの布小物	遠藤 亜希子／著	93	913.6 サ	復讐の準備が整いました	桜井 美奈／著
14	302.2799	ガザ、戦下の人道医療援助	萩原 健／著	54	595.5	幸せを呼ぶ「まつげ」の魔法	鈴木 愛／著	94	913.6 タ	往来絵巻	高瀬 乃／著
15	304	保身の経済学	森永 卓郎／著	55	596	はじめましての旬レシビ	白央 篤司／編・著	95	913.6 タ	記憶の対位法	高田 大介／著
16	311.1	政治哲学講義	松元 雅和／著	56	596.3	京都の乾物屋さんから教わるお出汁と乾物	山下 由美子／監修	96	913.6 ツ	普通の底	月村 了衛／著
17	316.8	ブラック・カルチャー	中村 隆之／著	57	596.4	焚き火メシの本	松倉 広平／著	97	913.6 ド	真実の幻影	堂場 瞬一／著
18	324.7	マイナス相続サバイバルガイド	永峰 英太郎／著	58	596.63	道の駅ご当地バーガー大全	鈴木 弘毅／著	98	913.6 ナ	出版禁止 女優真里亜	長江 俊和／著
19	329.36	「国境なき医師団」をそれでも見に行く	いとう せいこう／著	59	596.7	純喫茶図解	塩谷 歩波／著	99	913.6 フ	ヴァンパイア・シュテン	福田 和代／著
20	332.107	さらば！グローバル資本主義	森永 卓郎／著	60	597	フレンチシックなインテリア	木蓮／著	100	913.6 フ	最悪の相棒	伏見 美紀／著
21	336.49	職場の「困った人」をうまく動かす心理術	神田 裕子／著	61	597.5	あなたを動かす片付けの切り札	本多 さおり／著	101	913.6 フ	僕たちは我慢している	藤岡 陽子／著
22	361.454	人づきあいはコスパで考えるとうまくいく	勝間 和代／著	62	598.3	子どもの病気とはじめてのホームケア	筑紫 悠／著	102	913.6 マ	あの子とO	万城目 学／著
23	366.29	人生後半の働き方戦略	都築 辰弥／著	63	606.9163	万博をとここと楽しむ本		103	913.6 ミ	君が眠りにつくまえに	水沢 秋生／著
24	369.26	介護のイメージアップデートしませんか	全国こープ福祉事業運営機構／監修	64	626.9	コンテナ菜園の完全攻略レシビ	淡野 一郎／著	104	913.6 ヨ	ヨシモトオノ	吉本 ばなな／著
25	369.27	読書バリアフリーサポート入門	成松 一郎／著	65	627.8	ゆびのさきにかわいいみどり	ayumitt／著	105	913.68 モ	もの語る一手	青山 美智子／著
26	379.9	自分から学べる子になる戦略的ほたらかし教育	岩田 かおり／[著]	66	645.7	まるです。猫と暮らすということ。	mugumogu／著	106	914.6 ア	だいたいいいあわせ	阿川 佐和子／著・絵
27	383.8	世界のお弁当とソトごはん	岡根谷 実里／著	67	652.1	林業遺産へ行こう	柴崎 茂光／編著	107	914.6 イ	わたしの言ってること、わかりますか。	伊藤 亜和／著
28	385.6	弁護士が教えるいろんなお墓と安心の改葬・墓じまい	田島 直明／著	68	706.9	個展のつくりかた	竹氏 倫子／著	108	914.6 オ	あの頃に戻りたい。そう思える今も人は幸せ	大崎 洋／著
29	404	おとなサイエンス	あきとんとん／著	69	721.8	楽しく学べる浮世絵図鑑	かみゆ歴史編集部／編	109	914.6 タ	終わりに対話	谷川 俊太郎／著
30	440	宇宙の謎に迫る！中学生からわかる現代天文学	島袋 隼士／著	70	724	絵を描く人の思考をのぞく	上田 耕造／著	110	914.6 モ	この味もまたいつか恋しくなる	燃え殻／著
31	448.9	天才伊能忠敬の地図を作る驚異の技術	齋藤 勝裕／著	71	726.501	イラストを活かす仕事図鑑	グラフィック社編集部／編	111	914.6 モ	日常のフローチャート	森 博嗣／著
32	458	岩石のきほん	下司 信夫／著	72	726.9	葉っぱの切り絵	大河内 えりな／著	112	916 シ	自閉症の息子が自立して生きる道	翔ちゃんねる・Fucoママ／著
33	484.7	タコ・イカが見ている世界	吉田 真明／著	73	759.087	ミニチュアカブセルトイコレクション	渡邊 かおり／[編]	113	930.4 コ	ギンガムチェックと塩漬けライム	鴻巣 友季子／著
34	488.21	読んで楽しむ野鳥の事典	上田 恵介／鳥監修	74	760.69	演奏会を成功させる「舞台の作法」	賀内 隆弘／著	114	933.7 キ	フェアリー・テイル 上・下	スティヴン・キング／著
35	488.58	ハシビロコウのボンゴとマリンバ	南幅 俊輔／著	75	778.8	韓国ドラマ沼にハマってみたら	角田 光代／著	115	933.7 ホ	こうしてぼくはスパイになった	デボラ・ホプキンソン／著
36	493.7	最強にわかる心の病	飯屋 暢聡／監修	76	783.7	大谷翔平のバッティング解剖図鑑	立花 龍司／著	116	934.7 ラ	翻訳する私	ジュンバ・ラヒリ／著
37	493.983	身長先生式子どもの身長が伸びる食事のルール30	田邊 雄／著	77	786.1	フラット登山	佐々木 俊尚／著	117	949.93 シ	ゴライの悪魔	アイザック・バジェヴィス・シンガー／著
38	496	スマホ時代の「眼」メンテナンス	栗原 大智／著	78	815.8	やさしいおとなの敬語言い換え辞典		118	950.278 モ	血統書	パトリック・モディアノ／著
39	498.39	80歳からでも遅くない！脳の老化をくい止めるスゴ技100	瀧 靖之／著	79	818.63	大阪ことばの謎	金水 敏／著	119	953.7 ル	水棲生物	オズヴァルド・ルワット／著
40	498.583	みんなのコンビニ栄養学	濱 裕宣／著	80	829.178	ためぐち韓国語	キム スノク／著	120	993.613 ト	極北の海獣	イーダ・トゥルベイン／著



- 草津市立図書館トップページ(PC用)： <http://www.city.kusatsu.shiga.jp/toshokan/>
- パソコンからの蔵書検索・利用照会ページ： <https://www.lics-saas.nexs-service.jp/kusatsu/webopac/index.do>

- 図書館からの予約連絡用メールアドレス： kusatsu_library@info-a.lics-saas.nexs-service.jp
(送信専用です。返信されてもお答えできません。)

今月の新刊から



『立ち読みの歴史』

小林 昌樹／著

(早川書房)

024. 1 【本館所蔵】

書店に行く人の殆どがこの行為なしに店を出ることは難しいのではなかろうか。少なくとも私はそうだ。

この「立ち読み」という行為について真面目に向き合い、解き明かしているのが本書である。

著者は国立国会図書館でレファレンス業務に携わった経歴を持つ、いわば調査のプロ。自身の経験を駆使し、いかにして立ち読み文化が庶民の間に広まっていたのか、多角的な視点で浮き彫りにしていく。江戸の絵草紙屋を起点に、明治期の雑誌誕生により店先の客が店内に導かれていく流れや、ハタキで追い払われるおなじみの描写の追究など、立ち読みの変遷をとことんまで突き詰めた内容は実に興味深い。

NHK大河ドラマ「べらぼう」の時代から、移り変わる書店の形は今再び転換期の最中にある。「立ち読み」の風景もいつか変わるのかもしれない。(本館 桂木)

ずいぶん昔、「セブンイヤーズ イン チベット」という映画を観た。観音菩薩の転生者（化身）とされるダライ・ラマ、丘の上に建つポタラ宮、五体投地、マニ車（法具）など、その神秘性が強く印象に残っている。

本書はチベットやチベット人に魅せられた日本画家の竹内淳子さんが、中国・インド・ネパール等のチベット文化圏を何度も旅した旅日記だ。29のエピソードとともに、旅で出会ったチベット人や風景のスケッチ、そして仏教絵画のような極彩色で描かれた美しい日本画作品が掲載されている。本書を読んで新たに知ったチベット文化で、特に気になったのが、僧侶たちがお堂の床に色砂で彩色して作る砂マンダラだ。作るのに二週間ほどもかかる見事な砂マンダラだが、宗教儀式であるため法要後には壊され川に流されてしまうのだそうだ。

政治的なニュースで注目されるチベットだが、竹内さんが出会った各地で息づくチベット文化やチベット人達の逞しさを感じ取ってほしい。(本館 田中)



『ある日チベットで』

竹内 淳子／著

(京都新聞出版センター)

292. 29 【本館所蔵】

司書のおすすめ



『スナーク狩り』

ルイス・キャロル／作

トーベ・ヤンソン／絵

穂村 弘／訳

(集英社)

2014年刊

931. 6キ

【南館所蔵】

最初に断っておくと、本作に意味を求めてはいけない。なにしろ、作者はノンセンス文学の代名詞ルイス・キャロルである。「なんだかわけがわからない」を楽しむ本もあるのだなあと鷹揚にかまえてお付き合い願いたい。

本作は、ヘンテコな登場人物と巧みな言葉遊びで有名なキャロルの処女作『不思議の国のアリス』のしばらく後に発表された長編詩で、原文では韻を踏むように書かれている。船長ベルマンと8人+1匹の乗組員が、誰も見たことがない怪物「スナーク」を捕まえるため、まっしろな海図を手に冒険するという筋書きはあるものの、不思議な言葉の並びが読者を翻弄する。人の噂でしかない「スナーク」を追いかけるさまは社会風刺にも思えるが、作者の真意はわからない。

トーベ・ヤンソンの挿絵も「なんだかわけがわからない」世界観にぴったりだ。『アリス』にも出てくる架空の動物「バンダースナッチ」に襲われるシーンは恐ろしく、乗組員たちの表情はどこかコミカルに、細かく描かれている。そうすると「スナーク」もどこかに描き込まれているのではないかと探すのだが、いるような気もするし、いないようにも思えて、確信は持てない。

調べてみたところ、『アリス』が生まれた頃、日本は幕末。出版ブームで読書人口が一気に増え、長編小説が次々に出版された後、川柳や狂歌、判じ物のような言葉遊びを楽しむ本が流行した。日本とイギリス、文化も風土もまったく違う大海を隔てた国で、同時代に同じような言葉遊びの本が生まれたのだ。

そして今度は、現代短歌の歌人穂村弘が、日本古来の長歌形式を借りて五と七のリズムで、「なんだかわけがわからない」のはそのままに、洒脱に訳している(なぜ同じ言葉を三度繰り返すのかは読んでのお楽しみ)。

それを私が偶然本棚で見つける、不思議な巡り合わせ。本に携わる者として、これほどロマンを感じる瞬間はないのである。(南館 大西)